



血液腫瘍治療の最前線

- 日時 2024年6月26日（水）19：00～
- 場所 呉医療センター
管理棟 4 F 地域医療研修センター 1.2
- 座長 呉医療センター
地域医療連携部長 河野 博孝
- 講師 呉医療センター
血液内科科長
伊藤 琢生



血液腫瘍の治療研究は、その「検体の得やすさ」から細胞、さらに分子学的な解析が進み、あらゆるがんの治療において常に先駆的な治療を開発してきた。今から20年以上前の2001年に登場した慢性骨髄性白血病に対するチロシンキナーゼ阻害剤であるイマチニブ、悪性リンパ腫に対する抗体医薬であるリツキシマブの2薬剤の成功は、がん治療の歴史を大きく変える分岐点となり、今日では多くの領域で分子標的治療薬が開発されている。さらに最近登場したCAR-T療法と二重特異抗体治療は画期的な成果を出しつつあり、がん治療の歴史に新たなページを加えつつある。血液腫瘍の治療における現在地を概説する。

思いやりのある
やさしい誠実な医療を
提供します



◆当講演会は、院内外を問わず、医療関係者すべての方を対象とさせていただきます。お気軽にご参加ください。

連絡先 〒737-0023 呉市青山町3番1号
国立病院機構呉医療センター 管理課

TEL (0823) 22-3111 ホームページ：<https://kure.hosp.go.jp>

